

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議  
教育活動円滑化のための学校施設整備ワーキンググループについて(案)

1. 趣旨

教育振興基本計画(平成20年7月1日策定)において、今後10年間を通じて“教育の質を高める”ことが目標として掲げられたことを踏まえ、また、現在審議が進められている第2期教育振興基本計画の内容も踏まえつつ、重要な教育条件である学校施設に関し、教育活動をより円滑に行う観点から、その整備の在り方等について調査研究を行う。

2. 調査研究事項

- (1) 中長期的な学校施設整備施策の計画の基本的な考え方について
- (2) 学校施設の高機能化、多機能化と施設整備施策の関係について
- (3) 整備の目標について検討する際の留意事項について
- (4) その他

3. 実施方法

- (1) 別紙1の学識経験者等の協力を得て、2に掲げる事項について調査研究を行う。
- (2) (1)の他、教育に関する政策に係る基礎的な事項の調査および研究の状況を把握するため、別紙2に掲げる特別協力者の参画を得る。
- (3) 必要に応じ、その他の関係者の協力を求めることができる。

4. 実施期間

平成24年1月25日から平成25年3月31日までとする。

5. その他

この調査研究に関する庶務は、関係局課の協力を得て、大臣官房文教施設企画部施設企画課において行う。

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議  
教育活動円滑化のための学校施設整備ワーキンググループ委員名簿

氏名	職名
安部 和 則	長岡市教育委員会教育部教育施設課長
伊藤 俊 介	東京電機大学情報環境学部准教授
上野 淳	首都大学東京副学長
海野 剛 志	川崎市教育委員会教育環境整備推進室長
風岡 治	一宮市立中部中学校主査
劔持 勉	小金井市立小金井第一小学校長
小松 郁 夫	玉川大学教職大学院教授
斎尾 直 子	東京工業大学教育環境創造研究センター准教授
奈須 亮 子	東京学芸大学非常勤講師
成田 幸 夫	岐阜聖徳学園大学教育学部教授
村山 真由美	平塚市立横内中学校長
山重 慎 二	一橋大学大学院経済学研究科准教授
和田 一 郎	京都市教育委員会総務部担当部長

(以上 13 名、五十音順、敬称略)

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議特別協力者名簿

氏 名	職 名
齋 藤 福 栄	国立教育政策研究所文教施設研究センター長
屋 敷 和 佳	国立教育政策研究所教育政策・評価研究部総括研究官

(以上 2 名、五十音順、敬称略)

# 学校施設整備施策の計画の在り方について(仮称)(素案) 目次

## 第1章 背景

1. 学校施設の現状について
  - (1) 学校施設の役割
  - (2) 学校施設の現状と課題
  
2. 中長期的な施設整備施策の計画について
  - (1) 国の教育振興基本計画における学校施設整備に関する主な内容
  - (2) 地方における計画の状況
  - (3) 中長期的な施設整備施策の計画の必要性

H22年度に整理した箇所

## 第2章 施設整備施策の計画の在り方

1. 施設整備施策の計画の位置づけ
2. 学校施設整備指針等との関係
3. 施設整備施策の計画の検討について
  - (1) 中長期的なビジョンの設定
  - (2) 中長期的なビジョンに基づく現状把握・分析
  - (3) 目標・指標の設定
  - (4) 施設整備施策の計画策定の検討体制
  - (5) 施設整備施策の計画の公表についての考え方

## 4. 学校施設の高機能化・多機能化と施設整備施策の関係について

- (1) 学習活動への適応性
  - ・ 少人数教育への対応、理数教育環境の充実、特別支援教育への対応、ICT環境の充実 等
- (2) 安全性
  - ・ 耐震化、老朽化対策、防災機能の向上、防犯対策、事故防止対策 等
- (3) 快適性
  - ・ 室内環境の向上、バリアフリー対策 等
- (4) 環境への適応性
  - ・ 断熱化、省エネ設備の導入、木材利用 等
- (5) 地域の拠点化
  - ・ 生涯学習の場としての整備、子育て支援への対応 等

※先駆的事例を収集し、紹介

## 第3章 施設整備の目標(指標)について

- (1) 目標(指標)設定に当たり留意すべき事項
- (2) 施設整備の目標(指標)の参考例(自治体の目標(指標)を整理)

## WGの今後のスケジュール（案）

	教育活動円滑化WG
24年 1月	(1月25日(水)) 第5回WG
2月	第6回WG
3月	第7回WG
4月	
5月	第8回WG
6月	第9回WG
7月	
8月	